

ふくちやま



上下水道だより

第11号

平成27年10月 福知山市上下水道部発行
〒620-0876 福知山市字堀(水内)945番地
ホームページ <http://www.kouei.fukuchiyama.kyoto.jp/>

浸水対策を着実に進めています!

福知山市上下水道部では、排水ポンプ車を配備し、
操作訓練を行うなど、災害に備えています。



排水ポンプ車は全長約8.5mで、ポンプ6基、排水ホース、発動発電機ほか、夜間にも稼働できるようバルーン式投光器を備えています。

内水による浸水が発生した場合、排水作業を行います。

排水能力は、1分間に30トン、25メートルプール(6コース分)なら約10分で排水が可能です。

また今年度中に、もう1台配備する予定です。

雨水貯留槽設置補助金の補助率をアップし、 対象区域も拡大しました!

京都府が雨水貯留槽設置補助制度を創設したことに伴い、市の補助金の補助割合を、従来の3分の2から4分の3に引き上げました。

また、補助対象区域についても、昨年の豪雨災害等を考慮し、市街化区域(1,903ha)から公共下水道事業計画における雨水排水区域(1,938ha)に拡大しました。

この改正は、平成27年4月1日にさかのぼって適用し、補助金を既に交付済みの方には4分の3の額と3分の2の額との差額を追加交付します。

この補助制度の拡充を機に、ぜひ雨水貯留槽の設置をご検討ください。

詳しくは、お客様サービス課窓口係(Tel 22-6500)までお尋ねください。

福知山市上下水道部では、

施設見学を実施しています。

見学をした
小学生の感想を
掲載します。

水道水が出来るまで～福知山でつくる水～

水道施設



水が私たちの家にどのように届くのか、家に届くまでいろいろな人が関わっていることがわかり感動しました。

浄水場では、何回も水がきれいかわかっていることがわかりました。

浄水場の人たちは、私たちの生活の中でとても重要な事をしているんだと思いました。



水は無限にあるわけではないことがわかり、大事に使いたいと思います。

水の事がいろいろわかり、多くの人に水の事を知ってもらいたいと思います。

汚れた水をきれいにして川に戻すまで

下水道施設



汚れた水のゆくえがよくわかりました。油とか流さないようにしたいと思います。



終末処理場の実験で、トイレトーパー以外のもの、ティッシュなどは流してはいけなかったことがわかりました。

下水道につまるものは流しません。

1日に5000万ℓの水をきれいにしていて、最後まで水をきれいにするのに12時間かかることがわかりました。

地域・自治会・各種団体等、施設見学の希望があればお申込みください。
詳しくはホームページ、または下記までご連絡ください。

水道施設 水道課 TEL:22-6502

下水道施設 下水道課 TEL:22-2086

平成26年度決算レポート

水道事業会計

(1㎡あたりの給水原価の内訳)

給水原価(水道水をお届けするのに必要な費用)は

1㎡あたり168.22円です。

(お客様からいただいている料金は1㎡あたり154.23円です。)

水道施設等をつくるために借り入れたお金の利息

25.61円

支払利息

管路や水道施設の年間価値減少分

61.22円

減価償却費

原水及び浄水費

水をつくるためにかかる経費

30.46円

配水及び給水費

つくった水を各家庭等に
送り届けるためにかかる経費

25.59円

総係費等

一般事務経費等

25.34円

水道事業の施設整備については、堀浄水場緩速ろ過池の更新(膜ろ過施設への変更)に向け、膜ろ過施設の建設に着手しました。

また、平成26年8月豪雨災害で管路や施設が被災したため、災害復旧工事に取り組みました。

収支の状況については、収入では、隔月検針を開始したことにより給水収益が1ヵ月分繰り延べられた結果、8.0%減の11億7,177万円となりましたが、地方公営企業会計制度の改正により経理の方法に変更があった影響で、全体では8.5%増の15億1,070万円となりました。また、支出においても、会計制度の改正による減価償却費の増加などにより、全体では10.9%増の15億2,607万円となり、収支では当年度は1,537万円の純損失を計上することとなりました。

下水道事業会計

(1㎡あたりの汚水処理原価の内訳)

汚水処理原価(各家庭等からの排水をきれいにして河川へかえすのに必要な費用)は

1㎡あたり155.16円です。

(お客様からいただいている使用料は1㎡あたり125.07円です。)

下水道施設等をつくるために借り入れたお金の利息

21.01円

支払利息

管渠や下水道施設の年間価値減少分

62.96円

減価償却費

管渠費、ポンプ場費

各家庭等からの排水を処理場へ送るためにかかる経費

18.40円

処理場費

汚水をきれいにするのにかかる経費

40.48円

総係費等

一般事務経費等

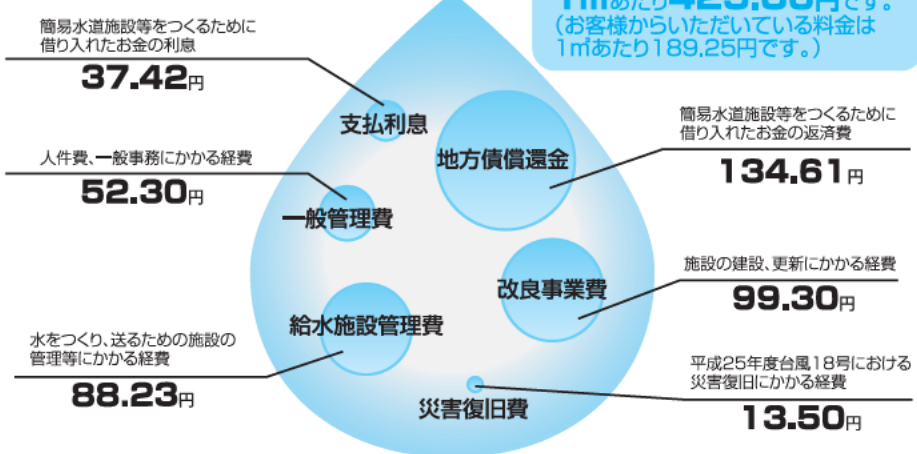
12.31円

下水道事業の施設整備については、東堀地内及び土師新町南地内の雨水貯留施設設置事業の浸水対策事業、老朽化した各施設の更新工事、平成26年8月豪雨災害により被災した各施設の災害復旧事業に取り組みました。

収支の状況については、収入では、隔月検針を開始したことにより下水道使用料が1ヵ月分繰り延べられた結果、6.8%減の13億6,770万円となりましたが、地方公営企業会計制度の改正により経理の方法に変更があった影響で、全体では41.1%増の33億6,079万円となりました。また、支出においても、会計制度の改正による減価償却費の増加などにより、全体では39.5%増の34億2,036万円となり、収支では当年度は5,957万円の純損失を計上することとなりました。

簡易水道事業特別会計

〔1㎡あたりの給水原価の内訳〕

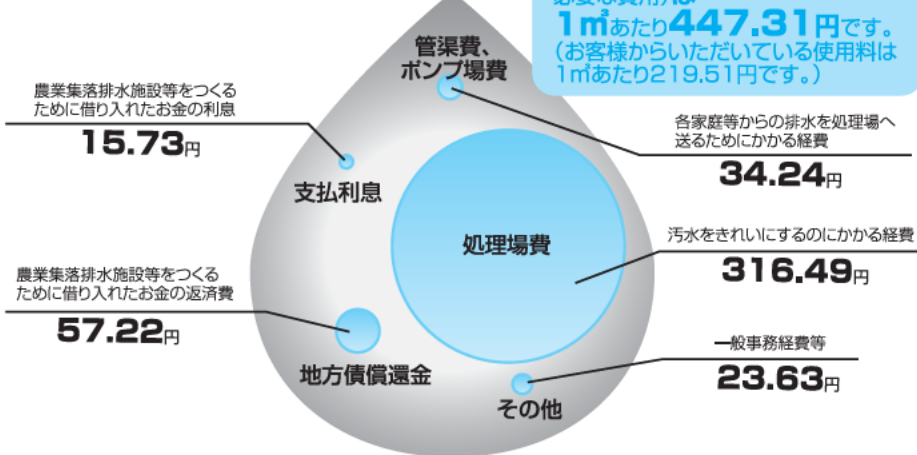


年間給水量は147万㎡と前年度に比べ9.3%減となりました。施設設備については、水道未普及地域解消事業として、北部簡易水道から橋谷地域への水道施設の拡張整備を行うとともに、生活基盤近代化事業として、畑簡易水道の配水支管布設替工事等の改良事業を実施しました。

また、平成25年度からの繰越事業である災害復旧事業を実施しました。未普及地域解消事業及び生活基盤近代化事業を新規に実施したことに伴い、歳出総額は、前年度に比べ10.2%増となり、歳入総額については、国庫補助金及び市債の増により、10.1%増となりました。収支については1,479万円の黒字を確保しました。

農業集落排水施設事業特別会計

〔1㎡あたりの汚水処理原価の内訳〕



農業集落排水施設の整備事業は平成19年度末に完了し、現在は市内21地区の各施設の適正な維持管理に努めています。

平成26年度の施設管理費や公債費に係る歳出総額は、台風18号災害による災害復旧事業を実施した前年度に比べ3.3%減となり、歳入総額は、使用料収入、国庫補助金、市債等の減により2.5%減となりました。決算収支については、5,274万円の黒字を確保することができました。

経営検討委員会

福知山市上下水道部では、厚生労働省の方針に基づき、経営基盤の弱い簡易水道の財務・技術基盤を強化するため、いわゆる一市一水道の実現に向け、平成29年4月に上水道への経営統合をめざしています。

このような中、この上水道と簡易水道の経営統合後の課題を共有する下水道事業も併せ、持続可能な事業経営のあり方を検討するため、このたび、福知山市上下水道事業経営検討委員会を立ち上げることとしました。

【みなさまの御意見を】お聞かせください。

上下水道部では、窓口や電話での職員の対応など、接遇に関するお客様アンケートを実施しています。上下水道部各課カウンター等にアンケート用紙を設置し、回収するための「御意見箱」を設けておりますので、職員の対応に関する御意見のほか、上下水道部に対する御意見をお寄せください。いただきました御意見は、改善に役立たせていただきます。(上下水道部のホームページからも投稿できます。)

総務課移転のお知らせ

10月5日(月)から、総務課が1階に移転しました。電話番号は変更ありませんが、FAX番号が22-6555に変更になります。

お問い合わせ先

福知山市上下水道部

水道・下水道事業についてのご意見やご要望をお待ちしています。
Eメール:soumu1@kouei.fukuchiyama.kyoto.jp

- 総務課 0773-22-6503
- 下水道課 0773-23-2085
- お客様サービス課 0773-22-6501
- 終末処理場 0773-23-2086
- 水道課 0773-22-6502
- F A X 0773-22-6555

